

| | | | | | |
|----------|---|-------|---|-------|---|
| ⑧休職中経済保障 | 5 | 50.0% | 3 | 60.0% | 1 |
| ⑨復職時配慮内容 | 9 | 90.0% | 4 | 80.0% | 1 |
| ⑩復職後配慮内容 | 9 | 90.0% | 4 | 80.0% | 1 |
| ⑪窓口担当に確認 | 3 | 30.0% | 2 | 40.0% | 1 |
| ⑫その他 | 0 | 0.0% | 1 | 20.0% | 0 |

10. ケース会議連携パターン:費用

| 表746 | (n=11) | | 表747 | (n=5) | | 表748 | (n=1) | |
|---------|--------|-------|------|-------|---|------|-------|--|
| | n | % | n | % | n | n | % | |
| ①保険診療項目 | 2 | 18.2% | 1 | 20.0% | 0 | | | |
| ②自費 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | | | |
| ③無料 | 9 | 81.8% | 4 | 80.0% | 1 | | | |

II-4連携についての課題、工夫

会社、産業医によりますが、本人の同意のもと、電話でやりとりすることもあります。手紙で伝わりにくくニュアンスが伝わったり、双方向でのやりとりが大事と思うこともあります。

・会社での当人に対する見方を事前に知ることによりリワークとは違った面を見ることができる。・また当人の特性を性格とかわざなどと捉えている企業スタッフへ。リワークスタッフより病気の一部だということを伝え対峙法など話し合えるため必要。・上司などに具体的な対応の仕方など伝えることができるため、大切な時間と考えている。

・連携のニーズが強いPt. は、病状が不安定になり易い点や、生活リズムが乱れ易い点が挙げられる。就労生活支援を(地域の社会資材の活用等)充実させることで、就労継続へとつなげていけるよう工夫した。・Pt.の特性理解、症状出現のプロセス等、職場への情報提供から理解が促されたことにより就労継続へとつなげた。

職場と連携する際の工夫点について①職場関係者、上司の気苦労も多く、まずは日頃の手大変さを労い、不平不満のガス抜きをすることから関係作りをしている。②(上司とスタッフの二者面談に関して)本人がいない所で、職場関係者から話を聴く場を設けることで、職場での問題が明確化される。③本人の出席状況とSTEP(治療段階)を職場に2週に1度定期的に伝えている。このことで本人の回復の度合いについてクリニックと職場で共有しやすくしている。職場と連携する際の課題点について①職場関係者と連携を取ろうとした際、本人が休職後に異動などがあり、職場関係者も休職原因がよくわからない時がある。②当デイケアで行なっている上司とスタッフの二者面談で得た情報について、直接本人には伝えてないことと約束しているため、活用方法が十分に確立されていない。③専門性が高く、業務内容とリワークプログラムでの作業内容に大きな差がある方の、復職準備性を判断するのに苦慮する時がある。そのような時に職場から課題を出してもらいように依頼する時があるが、断られる時がある。④職場と本人が関係が悪い時など、職場からこちらが望んだ支援がなかなか得られず、復職の時期が延びたりする時がある。⑤本人の職場への恐怖が強く、休職が長期化している場合、職場に理解してもらえる様に説明することが難しい。

1. 企業によって連携に温度差がある。2. 企業が本人に対して感じている課題の情報提供が出来る整備。(リワークに対して)3. リワークで本人が言っている課題と、企業で考えている課題にズレが生じている場合すり合せ作業の必要性。

患者様が連携を望んでいる場合でも、職場側が来院することに否定的な時。

本人の復職準備性が整っている段階で連携をすすめることで、連携作業のプロセスや、面談自体がリハビリテーションプログラムとしての機能を果たし、再生防止策の構築や問題解決、課題遂行に役立てることができている。従って、ケース会議による連携は、本人との定期連絡(定期面談)で代用されている。

日常的な連携については、電話を手段としていることが多いと思います。職場からの情報(職場への確認事項)については時期に応じて得よう努めており、例えば、休職期間及びその期間中の経済保障についてはリワーク開始前に、仕事ぶりや対人交流など職場の評価に関するものはリワーク前期～中期に、といったように回数に分けてパイプを繋いでおくようにしています。

職場上司との主治医、精神保健福祉士の面談が、費用請求できていないことが課題です。

他院から当院リワーク利用の方は、原則、2ヶ月に1回、情報提供書をお作りし、会社あてにも(同様の内容にほぼなるが、)欲しい場合には、その分も発行(自費)しています。内容は全て見て頂き、要望があれば修正しています。ご本人の変化や、能力、強みを書くとともに、苦手なことへの可能な範囲での配慮が頂けるようにしている。書面でのご報告の場合、返事はほとんどありませんが、復職判定の資料になったりしているようです。一番”連携”できていると感じるのは人事や産業カウンセラー・保健師の方との”tel”です。報告をお読みにったり、面談(本人と会社の)の前後で、その様子や、リワークでのこと、困っていること等を伝えて下さったりするので、「ではこちらではそのあたり促してみます」「サポートしてみます」等の役割分担をしていることを実感しています。こちらとしても仕事の片手間に本人をサポートしている上司でなく、専門の方ということで、話しやすいです。ここ最近では、職場の労働環境の整備に対して、会社の方がどれだけ積極的であるかが再発に大きく影響している可能性も指摘されているので、会社への同行面談などもできればと考えていますが、マンパワー不足で実現は厳しい状況です。

基本的には、電話で利用開始時、利用中は1～2週間に1回職場に連絡し、必要な報告、相談、調整を行っている。職場の要望に応じて、本人了承の下、評価票の提出、診察への同席、別途主治医との面談、職場でのケース会議を行っている。

某企業(利用者が多い)のメンタルヘルス相談部内には、合同カンファレンスの提案中

リワーク開始後2週間に、職場の窓口の方(産業医、産業保健スタッフ、人事、上司)に担当スタッフより電話連絡。情報共有を行っている。(15分程度無料)

・診察・面談による連携がメインではあるが、先方の都合がつかない場合は担当スタッフによる企業訪問や電話など他の連携を工夫している。質問として(疑問点として)ですが、ケース会議の意義・意味について(面談との違いなど)教えていただけると幸いです。

・企業との連携は利用者全員に実施しているわけではありません。全員にできるとよいのですがマンパワーが足りません。現状では希望される企業及び必要性が高い患者を対象に実施しています。

現在は、リワーク研究会の評価を元にした評価表を作成し、主治医に診療情報提供書として、送付している。本人希望があれば、コピーをリワークの「客観的評価」として、渡しています。

現在、リワークスタッフが行う面談内容が定型化されていないため、得られる情報が統一されていないこと。

基本的には企業・会社側とのやり取りは本人に任せているスタンスです。ケースによっては連携を図ることもあります。

電話や書面を利用して連携をはかっていますが、企業における患者様の立場や状況によって、全々対応が異なっています。熱心なところもあれば連絡が一切ないこともあります。

時間が無い。企業側が望むスタイルで連携する。会議より書面や面談を希望される場合は時間調整しています。

企業側が求めることと医療機関として提供できることが合わない。本人の特徴上変えがたい命令、もしくは変えるのに時間がかかる命令は休職期間や企業側で対応することが難しい。そのため、本人の情報を最大限有効に活用する範囲や程度の選択が課題であり、工夫していることは常々本人と企業側で連絡を取り合い、本人の望みと企業側の求めることを互いに共有してもらう、そして、その情報をスタッフと共有することで事前の対策やズレを少なくしている。

職場へ書面で毎月定期的に、参加状況報告を2015年4月より行っている。それまではリワーク研究会の書式を活用させて頂いたが、マンパワーの限界から毎月出せなくなっていたため、簡素化した添付資料をもちいて連携をはかっている。

☆ケース会議の定義診察1面談との違いがよく判りません。複数スタッフの参加ということであれば、ケース会議に該当しそうな場合もあります。内容は診察、面談の記載と同様です。企業側担当は、①～④です。

復職前には、企業側ともお電話や面談にてリワークでの様子や復職時に配慮していただきたいことなどをお話しする機会をつくるようにしています。料金のことが課題です。

各参加メンバーに応じて、職場への報告書の頻度は個人差があるが、多くのメンバーについて、書面は必須の報告としているし、場合によって、上司等に来院していただいて、復職への課題を当人と職場の両社で共有できる工夫をしている。特に、休職に至った背景等、これまで当人が職場に伝えられずにいた内容については、リワークスタッフが間に介在して三者面談を実施することで、初めて当人の口から職場に悩んでいた内容を伝えられる場合も多く、復職に向けた大事なプロセスの一つと位置づけて面談を実施している。

・職場で求める復職レベルが千差万別のため。こまやかにきいていく必要があり。面談時にどうしても長時間になる。・連携の時の算定が困難(特に書面。リワーク評価の送付など)

・現状、当院では退院後、クリニックのリワークプログラムへ移行する方が多い為、直接当院が企業と連携を持つことは少ない。

連携時に使用している書類は、リワーク研究会で出されているものを使用しておりますので、省略させていただきます。

企業からの担当者来院してもらい面談を行っています。リワーク担当者が企業に行くことで職場状況をより理解し、患者様のサポートにより役立つ方向性を見つけていることもできると思いますが、マンパワー、経費の面で難しい状況です。

・産業医との連携で、リワークプログラム内での様子を報告(標準化リワーク評価表)した際に、見解について、返答がある場合と、ない場合があり、情報が得にくい。・企業側(産業医・産業保健スタッフ以外)の、精神疾患に関する理解が乏しい。

個人情報をごくまで伝えてよいか難しい。本人に許すを得た内容のみだと企業側もこちらも本当にききたいことがお互いきけない印象

職場との連携については本人がやれることはやっております。必要に応じて面談を行っています。再発防止の観点連携は必要と考えていますが、どこまで介入すべきなのか、本人の自立と考えると模索状態であります。

(課題)・同一事業所から複数の患者が利用する場合。・企業の定める利用期間が短かく、十分な回復が得られない。・職場の同意を必須としない、デイケア利用の、利益、不利益。

主治医と企業との連携は多いが、リワーク施設と企業との連携においては、なかなか企業へ訪問できるマンパワーはなく企業から来て頂くことも難しい為、利用者の7割程は連携せず進めていくケースが多い。リワーク施設の状況を企業側へ伝える手段として、本人へ書面の活用を提案させて頂いている。

課題 ・利用者の方々の職務内容が幅広く、ご本人様や職場の方々の話から職場の状況を正確にアセスメントすることが難しい。工夫・気になる点があればこまめに企業や産業医宛にお電話させて頂き確認しているEx. 産業医面談の内容・ご本人様と職場の話に食い違いが見られるとき等・ご本人様のリワークでの現状を理解していただけるように評価シートの記入に配慮している・当院は地方都市であることから、中小企業からの利用者も多く、企業内で初めての精神疾患による休職者となるケースも少なくない。その為、復職時の職場環境・体制など提案させて頂いている

・時間の確保・ケース会議では、本人が思う問題点を職場の方から見た問題点を伝え合い、問題解消の方向性を決定している。当事者と職場とのズレがあるケースが多く、確認と調整をすることによってリワークで取り組む時間が無駄にならないようにまた、集団の中で個別の問題を解決していくため。また、適切なプログラムの実施につなげていくために、ケース会議を行っています。(P6と重複する場合がありますが…)

リワーク利用時に書面で職場に不安な点や気になる点などは情報収集しているが、リワーク利用中にも、定期的に職場担当者と連携することで、職場の不安も軽減し、リワーク側や本人の目標も明確になるのではないかと思う。

・「実家で療養中」のため現住所と勤務先が著しく離れている場合、勤務先への訪問や調整に苦慮する場合がある。・現在までのところ、各勤務先には情報提供について快よく御協力いただいています。・勤務先への書面問い合わせには、「リワーク指導マニュアル」のステップ3「業務情報収集シート(会社用)」を参考にさせていただいています。

企業や本人から依頼があった時のみ、連携を行っています。スタッフの人数が少なく(2名)、丁寧なケアをしているとはいえない現状をもどがしく感じています。しかし、書面にはできる限り、ご本人の復職、その後に役立つ情報を記載するなど、現状でできることを工夫しています。

厚生労働科学研究費補助金分担研究報告書「リワークマニュアルの作成」の中の”業務情報収集シート”を利用しています。

現在ケースの連携というよりは、リワークプログラムの広報をかねて職場訪問をしている。まずは企業との信頼関係が無ければ連携は難しいと考えるからだ。しかし、現状訪問においてこれといった手応えは感じていない。また、ケースの連携も重要だと感じている。

・およそ月に1回のペースで、スタッフが文書で通所状況、生活リズム、参加中の様子、作業能力の回復の程度等、産業医の先生にご報告しています。ご本人との認識のズレをなくすため、2週間に一度のペースでスタッフと面談をもっています。また、評価表を活用し、自己評価とスタッフからの評価とをすり合わせています。報告書や評価表は複数のスタッフで確認し、多面的に評価できるようにしています。・企業の協力が得られれば、上司や人事担当者などに診察に同席していただき、治療経過や、リワークでの様子等伝えていきます。(主治医から)

当施設は、今春にリワークプログラムを開設したばかりですが、今回のアンケート内容と同様の課題を抱えています。今後、ご指導いただければと思います。

復帰に向けて本人の能力的特性や性格傾向、そして回復具合を伝え、適切な復帰環境の調整ができるかと本人、企業ともに満足感が高くなり、再就職率の低下にもつながっていると思われます。一方で、大分手間のかかる作業なのでスタッフの負担になっています。リワーク開始にあたっては企業側からの情報提供も得たいと思っておりますが、そこまで手のまわらない状況です。

マンパワー不足、他の業務と兼務のため、なかなか時間を確保することが難しいこと。

連携に際し、ご本人が拒否されることもあるますので、受け入れの際、「職場への情報提供」に必ず書面で同意をいただいています。・企業側で窓口が固定されておらず、(特に中小企業)どなたと話せば良いのか分らないことが多く、課題ではあります…。

企業との連携については月に1回、担当医と臨床心理士による電話での経過報告も行っていきます。復職後は、アフターフォローを行っているものの、本人は休みがちだったり課題は絶えませんが。精神科ショートケアとして、手探りでリワークプログラムをスタートしたので、何かと試行錯誤ではありますが。今後とも、ご指導ご便達のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

必ず事前に患者様の許可を得ること。・情報共有の範囲を確認すること。

他院とリワークプログラム実施施設（自院）の連携に関する実態調査

連携の定義：他院主治医で、自院が実施するリワークプログラムに参加予定／参加中／参加後の患者様の、情報共有や協働支援のこと。

実際にリワークを担当している担当者をご回答ください

I. 回答者について

I. 回答者につきまして、以下の項目をご記載下さい

| | | | |
|--------|--|-------|--|
| 貴施設名 | | | |
| 記入者名 | | | |
| 記入者職種 | ①医師 ②看護師 ③保健師 ④精神保健福祉士 ⑤臨床心理士 ⑥作業療法士 ⑦心理士 ⑧その他（ ） ※いずれかに○をつけて下さい | | |
| 住 所 | | | |
| 電話番号 | | FAX番号 | |
| E-mail | | | |

【お願い】

連携における標準化シートを作成し、研究会会員間における共有と診療報酬に向けた具体的提言に使用するため、調査票返送時に各連携時に使用している書類一式を添付いただければ幸いです

【書面による連携】

IV-問1. 書面による連携の有無について該当するものに○を付けて下さい

| | |
|-------------------|-------------------------|
| ①書面連携あり →IV-問1-2△ | ②書面連携なし →IV-問2△ (6ページ目) |
|-------------------|-------------------------|

IV-問1-2. 該当する項目に○を付け、設問5、8は記述もして下さい。

書面による方法で複数のパターンがある場合は代表的なものの最大3つを左から頻度の高い順にご記入下さい。

| | 連携パターン① | 連携パターン② | 連携パターン③ |
|--------------------|---|---|---|
| 1. 連携の時期 | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() |
| 2. 自院側担当 | ※パタン①において関わる主なものいずれか1つを選択 ①リワーク担当医師 ②担当スタッフ →2-2△ ③その他 () | ※パタン②において関わる主なものいずれか1つを選択 ①リワーク担当医師 ②担当スタッフ →2-2△ ③その他 () | ※パタン③において関わる主なものいずれか1つを選択 ①リワーク担当医師 ②担当スタッフ →2-2△ ③その他 () |
| 2-2. 担当スタッフの職種について | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () |
| 3. 他院側担当 | ※パタン①において関わる主なものいずれか1つを選択 ①主治医 ②コメディカル ③その他 () | ※パタン②において関わる主なものいずれか1つを選択 ①主治医 ②コメディカル ③その他 () | ※パタン③において関わる主なものいずれか1つを選択 ①主治医 ②コメディカル ③その他 () |

| 4. 本人の同意の有無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
|---|--|--|--|
| 5. 所要時間 | ※作成にかかる時間 _____分 /回 | ※作成にかかる時間 _____分 /回 | ※作成にかかる時間 _____分 /回 |
| 6. 当該パタンに関連し自院からの情報を提供しているか？提供している場合はどのような情報を提供しているか？ | A. 情報提供している →内容を以下より選択 B. 情報提供していない ※複数回答可 ①生活リズム ②出欠席の状況 ③日中の居眠り/眠気の有無 ④作業能力の回復度合 ⑤休職要因 ⑥対人関係能力 ⑦本人の特性 ⑧家族との関係 ⑨職場の人間関係 ⑩リワークプログラム参加の適・不適 ⑪復職の目処 ⑫現職場（職種）と参加者とのマッチング ⑬その他（ ） | A. 情報提供している →内容を以下より選択 B. 情報提供していない ※複数回答可 ①生活リズム ②出欠席の状況 ③日中の居眠り/眠気の有無 ④作業能力の回復度合 ⑤休職要因 ⑥対人関係能力 ⑦本人の特性 ⑧家族との関係 ⑨職場の人間関係 ⑩リワークプログラム参加の適・不適 ⑪復職の目処 ⑫現職場（職種）と参加者とのマッチング ⑬その他（ ） | A. 情報提供している →内容を以下より選択 B. 情報提供していない ※複数回答可 ①生活リズム ②出欠席の状況 ③日中の居眠り/眠気の有無 ④作業能力の回復度合 ⑤休職要因 ⑥対人関係能力 ⑦本人の特性 ⑧家族との関係 ⑨職場の人間関係 ⑩リワークプログラム参加の適・不適 ⑪復職の目処 ⑫現職場（職種）と参加者とのマッチング ⑬その他（ ） |
| 7. 当該連携パタンに関連し他院から情報を得るか？得ている場合はどのような情報を得ているか？ | A. 情報得ている →内容を以下より選択 B. 情報得ていない ※複数回答可 ①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧休職要因 ⑨リワークプログラム参加の適・不適 ⑩家族との関係 ⑪職場の人間関係 ⑫生活リズム ⑬ 主治医が考える復職時期 ⑭主治医が考える復職可能の状態 ⑮その他（ ） | A. 情報得ている →内容を以下より選択 B. 情報得ていない ※複数回答可 ①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧休職要因 ⑨リワークプログラム参加の適・不適 ⑩家族との関係 ⑪職場の人間関係 ⑫生活リズム ⑬ 主治医が考える復職時期 ⑭主治医が考える復職可能の状態 ⑮その他（ ） | A. 情報得ている →内容を以下より選択 B. 情報得ていない ※複数回答可 ①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧休職要因 ⑨リワークプログラム参加の適・不適 ⑩家族との関係 ⑪職場の人間関係 ⑫生活リズム ⑬ 主治医が考える復職時期 ⑭主治医が考える復職可能の状態 ⑮その他（ ） |
| 8. 費用 | ①保険診療 算定項目？ () ②自費 請求額は？ () 円) ③無料 | ①保険診療 算定項目？ () ②自費 請求額は？ () 円) ③無料 | ①保険診療 算定項目？ () ②自費 請求額は？ () 円) ③無料 |

【診察・面談による連携】

診察・面談の定義：通常診察場面やそれ以外の時間を使って個別に行われる面談のこと

※以下に連携の例を挙げました

例1) 他院主治医の患者様がリワークプログラムを希望しており、導入にあたり他院ケースワーカーが参加希望患者様と当院を訪れ、当院ケースワーカーにこれまでの治療の経過と、他院主治医の意向などを伝へて来た。

例2) 他院主治医の患者様の復職準備性評価を自院で行い、その結果を他院主治医に伝えるため患者様の診察に同席して説明をした。

IV-問2. 診察・面談による連携の有無について該当するものに○を付けて下さい

| | |
|----------------------|----------------------------|
| ①診察・面接連携あり →IV-問2-2^ | ②診察・面接連携なし →IV-問3^ (9ページ目) |
|----------------------|----------------------------|

IV-問2-2. 該当する項目に○を付け、設問7、10は記述もして下さい。

診察・面接による方法で複数のパターンがある場合は代表的なものの最大3つを
頻度の高い順に左からご記入下さい。

| | 連携パターン① | 連携パターン② | 連携パターン③ |
|--------------------|---|---|---|
| 1. 連携の時期 | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() |
| 2. 自院側担当 | ※パタン①において関わる自院関係者全てに○を付けて下さい ①リワーク担当医師 ②担当スタッフ →2-2^ ③その他 () | ※パタン②において関わる自院関係者全てに○を付けて下さい ①リワーク担当医師 ②担当スタッフ →2-2^ ③その他 () | ※パタン③において関わる自院関係者全てに○を付けて下さい ①リワーク担当医師 ②担当スタッフ →2-2^ ③その他 () |
| 2-2. 担当スタッフの職種について | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () |

| | | | |
|---|--|--|--|
| 3. 他院側担当 | ※パタン①において関わる他院関係者全てに○を付けて下さい ①主治医 ②コメディカル ③その他 () | ※パタン②において関わる他院関係者全てに○を付けて下さい ①主治医 ②コメディカル ③その他 () | ※パタン③において関わる他院関係者全てに○を付けて下さい ①主治医 ②コメディカル ③その他 () |
| 4. 本人の同意の有無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| 5. 本人の同席 | ①同席する ②同席しない ③ケースバイケース | ①同席する ②同席しない ③ケースバイケース | ①同席する ②同席しない ③ケースバイケース |
| 6. 場所 | ①自院 ②他院 ③その他 () | ①自院 ②他院 ③その他 () | ①自院 ②他院 ③その他 () |
| 7. 所要時間 | _____分 /回 | _____分 /回 | _____分 /回 |
| 8. 当該パタンに関連し自院からの情報を提供しているか？提供している場合はどのような情報を提供しているか？ | A. 情報提供している →内容を以下より選択 B. 情報提供していない ※複数回答可 ①生活リズム ②出欠席の状況 ③日中の居眠り/眠気の有無 ④作業能力の回復度合 ⑤休職要因 ⑥対人関係能力 ⑦本人の特性 ⑧家族との関係 ⑨職場の人間関係 ⑩リワークプログラム参加の適・不適 ⑪復職の目処 ⑫現職場（職種）と参加者とのマッチング ⑬その他 () | A. 情報提供している →内容を以下より選択 B. 情報提供していない ※複数回答可 ①生活リズム ②出欠席の状況 ③日中の居眠り/眠気の有無 ④作業能力の回復度合 ⑤休職要因 ⑥対人関係能力 ⑦本人の特性 ⑧家族との関係 ⑨職場の人間関係 ⑩リワークプログラム参加の適・不適 ⑪復職の目処 ⑫現職場（職種）と参加者とのマッチング ⑬その他 () | A. 情報提供している →内容を以下より選択 B. 情報提供していない ※複数回答可 ①生活リズム ②出欠席の状況 ③日中の居眠り/眠気の有無 ④作業能力の回復度合 ⑤休職要因 ⑥対人関係能力 ⑦本人の特性 ⑧家族との関係 ⑨職場の人間関係 ⑩リワークプログラム参加の適・不適 ⑪復職の目処 ⑫現職場（職種）と参加者とのマッチング ⑬その他 () |

| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>9. 当該連携/パターンに関連し他院から情報を得るか? 得ている場合はどのような情報を得ているか?</p> | <p>A. 情報得ている →内容を以下より選択</p> <p>B. 情報得ていない</p> <p>※複数回答可</p> <p>①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧休職要因 ⑨リワークプログラム参加の適・不適 ⑩家族との関係 ⑪職場の人間関係 ⑫生活リズム ⑬主治医が考える復職時期 ⑭主治医が考える復職可能な状態 ⑮その他 ()</p> | <p>A. 情報得ている →内容を以下より選択</p> <p>B. 情報得ていない</p> <p>※複数回答可</p> <p>①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧休職要因 ⑨リワークプログラム参加の適・不適 ⑩家族との関係 ⑪職場の人間関係 ⑫生活リズム ⑬主治医が考える復職時期 ⑭主治医が考える復職可能な状態 ⑮その他 ()</p> | <p>A. 情報得ている →内容を以下より選択</p> <p>B. 情報得ていない</p> <p>※複数回答可</p> <p>①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧休職要因 ⑨リワークプログラム参加の適・不適 ⑩家族との関係 ⑪職場の人間関係 ⑫生活リズム ⑬主治医が考える復職時期 ⑭主治医が考える復職可能な状態 ⑮その他 ()</p> |
| <p>10. 費用</p> | <p>①保険診療 算定項目? ()</p> <p>②自費 請求額は? () 円</p> <p>③無料</p> | <p>①保険診療 算定項目? ()</p> <p>②自費 請求額は? () 円</p> <p>③無料</p> | <p>①保険診療 算定項目? ()</p> <p>②自費 請求額は? () 円</p> <p>③無料</p> |

IV-問3. それぞれ連携について課題、工夫がありましたらご記入下さい。

※なお、連携における標準化シートを作成し、研究会会員間における共有と診療報酬に向けた具体的提言に使用するため、各連携時に使用している書類一式を添付いただければ幸いです

※以上でアンケート終了となります。
ご協力いただきありがとうございました。

I. 企業との連携の有無について

I-問1. 企業との連携は行っていますか？該当するものに○を付けてください。

①連携している → II-問1△

②連携していない → I-問2△

I-問2. 連携をしていない理由、または難しくしている要因についてご回答ください。
該当するものに**全て**に○を付けてください。

- | | | |
|---------------------|---------------------|-----------------|
| ①マンパワー不足 | ②時間がない | ③診療報酬で請求できないため |
| ④患者が連携を望まない | ⑤企業側が連携を望まない | ⑥連携の方法・手段が分からない |
| ⑦患者自身で行うものであると考えている | ⑧連携しても効果がないと考えている | |
| ⑨個人情報保護が心配である | ⑩治療とは関係がないためすべきではない | |
| ⑪その他 () | | |

※ I-問1で②を選択し、I-問2をご回答いただいた方は
以上でアンケート終了となります。ご協力いただきありがとうございました。

II. 各方法における連携の実際

ここからは「書面」「診察・面談」「ケース会議」の3つの方法で実際の連携がどのように行われているのかをお聞きします。

今後リワーク施設における連携について標準化と診療報酬化を視野に『いつ、だれが、だれに、どこで、どんな内容を、いくらで』おこなっているか、具体的内容とその方法、労力を明確にしたいと考えております。つきましては、それぞれの方法でケースバイケースの事例もあるかと存じますが、書施設における定型化した代表的な連携パターンを（定期・不定期に関わらず）最大3つ想定いただき、左から頻度の高い連携順にご記入くださいますようよろしくお願い申し上げます。

なお、各時期の定義については以下の通りです。

- 【1.リワーク開始前】…リワークプログラムへの参加検討段階から参加するまでの期間
- 【2.リワーク開始時】…リワークプログラムに参加後概ね2週間の期間
- 【3.リワーク参加中】…リワークプログラムへの参加から終了するまでの期間(リハビリ出勤中は含まず)
- 【4.復職前/復職時】…概ね復職1ヶ月前からの復職に向けた具体的内容を話合う時期(リハビリ出勤中含む)
- 【5.復職後(フォローアップ期)】…復職後、概ね1年間の期間
- 【6.その他】…上記にある時期以外で連携をしていることがあれば、ご記入ください

【書面による連携】

II-問1. 書面による連携の有無について該当するものに○を付けて下さい

| | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ①書面による連携あり → II-問1-2△ | ②書面による連携なし → II-問2△ (6ページ目) |
|-----------------------|-----------------------------|

II-問1-2. 該当する項目に○を付け、設問5、8は記述もして下さい。

書面による方法で複数のパターンがある場合は代表的なものの最大3つを
左から頻度の高い順にご記入下さい。

| | 連携パターン① | 連携パターン② | 連携パターン③ |
|---------------------------|---|---|---|
| 1. 連携の時期 | <p>※いずれか1つを選択</p> <p>①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他()</p> | <p>※いずれか1つを選択</p> <p>①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他()</p> | <p>※いずれか1つを選択</p> <p>①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他()</p> |
| 2. 医療機関側 担当 | <p>※主なものいずれか 1つを選択</p> <p>①主治医 ②リワーク担当医師 ③担当スタッフ→2-2△ ④その他()</p> | <p>※主なものいずれか 1つを選択</p> <p>①主治医 ②リワーク担当医師 ③担当スタッフ→2-2△ ④その他()</p> | <p>※主なものいずれか 1つを選択</p> <p>①主治医 ②リワーク担当医師 ③担当スタッフ→2-2△ ④その他()</p> |
| 2-2. 担当スタッフ の職種について | <p>※複数回答可</p> <p>①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他()</p> | <p>※複数回答可</p> <p>①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他()</p> | <p>※複数回答可</p> <p>①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他()</p> |

| | | | |
|------------------------------------|---|---|---|
| 3. 企業側 担当 | <p>※主なものいずれか 1つを選択</p> <p>①産業医 ②産業保健スタッフ ③人事労務担当 ④上司 ⑤その他 ()</p> | <p>※主なものいずれか 1つを選択</p> <p>①産業医 ②産業保健スタッフ ③人事労務担当 ④上司 ⑤その他 ()</p> | <p>※主なものいずれか 1つを選択</p> <p>①産業医 ②産業保健スタッフ ③人事労務担当 ④上司 ⑤その他 ()</p> |
| 4. 本人の 同意の有無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| 5. 所要時間 | <p>※作成にかかる時間</p> <p>_____分 /回</p> | <p>※作成にかかる時間</p> <p>_____分 /回</p> | <p>※作成にかかる時間</p> <p>_____分 /回</p> |
| 6. 医療機関からの 情報提供内容は？ | <p>※複数回答可</p> <p>①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧評価表 (リワーク研究会書式) ⑨評価表 (リワーク研究会書式以外) ⑩今後の見通し ⑪業務への影響 ⑫配慮事項 ⑬担当窓口 ⑭その他 ()</p> | <p>※複数回答可</p> <p>①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧評価表 (リワーク研究会書式) ⑨評価表 (リワーク研究会書式以外) ⑩今後の見通し ⑪業務への影響 ⑫配慮事項 ⑬担当窓口 ⑭その他 ()</p> | <p>※複数回答可</p> <p>①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧評価表 (リワーク研究会書式) ⑨評価表 (リワーク研究会書式以外) ⑩今後の見通し ⑪業務への影響 ⑫配慮事項 ⑬担当窓口 ⑭その他 ()</p> |
| 7. 当連携に関連し 職場からどんな情報 が得られるか？ | <p>A. 情報得ている →内容を以下より選択</p> <p>B. 情報得ていない</p> <p>※複数回答可</p> <p>①事業概要 ②職種 ③職務内容 ④職場環境 ⑤仕事ぶり ⑥対人交流 ⑦休職期間 ⑧休職中経済保障 ⑨復職時配慮内容 ⑩復職後配慮内容 ⑪担当窓口の確認 ⑫その他 ()</p> | <p>A. 情報得ている →内容を以下より選択</p> <p>B. 情報得ていない</p> <p>※複数回答可</p> <p>①事業概要 ②職種 ③職務内容 ④職場環境 ⑤仕事ぶり ⑥対人交流 ⑦休職期間 ⑧休職中経済保障 ⑨復職時配慮内容 ⑩復職後配慮内容 ⑪担当窓口の確認 ⑫その他 ()</p> | <p>A. 情報得ている →内容を以下より選択</p> <p>B. 情報得ていない</p> <p>※複数回答可</p> <p>①事業概要 ②職種 ③職務内容 ④職場環境 ⑤仕事ぶり ⑥対人交流 ⑦休職期間 ⑧休職中経済保障 ⑨復職時配慮内容 ⑩復職後配慮内容 ⑪担当窓口の確認 ⑫その他 ()</p> |

| | | | |
|-------|--|--|--|
| 8. 費用 | ①保険診療 算定項目は？ () ②自費 請求額は？ () 円 ③無料 | ①保険診療 算定項目は？ () ②自費 請求額は？ () 円 ③無料 | ①保険診療 算定項目は？ () ②自費 請求額は？ () 円 ③無料 |
|-------|--|--|--|

【診察・面談による連携】

診察・面談の定義：通常診察場面やそれ以外の時間を使って個別に行われる面談のこと

ex) 通常外来時間に職場の人事・上司が来院し、主治医・担当スタッフと30分の時間をかけて面談
昼休みの空いている時間に職場の産業保健スタッフが来院し、リワーク担当スタッフと面談 等々

II-問2. 診察・面談による連携の有無について該当するものに○を付けて下さい

| | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ①診察・面談連携あり → II-問2-2△ | ②診察・面談連携なし → II-問3△ (9ページ目) |
|-----------------------|-----------------------------|



II-問2-2. 該当する項目に○を付け、設問7、10は記述もして下さい。

診察・面接による方法で複数のパターンがある場合は代表的なものの最大3つを左から
頻度の高い順にご記入下さい。

| | 連携パターン① | 連携パターン② | 連携パターン③ |
|---------------------------|---|---|---|
| 1. 連携の時期 | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() | ※いずれか1つを選択 ①リワーク開始前 ②リワーク開始時 ③リワーク参加中 ④復職前/復職時 ⑤復職後 ⑥その他() |
| 2. 医療機関側 担当 | ※複数回答可 ①主治医 ②リワーク担当医師 ③担当スタッフ → 2-2△ ④その他 () ↓ | ※複数回答可 ①主治医 ②リワーク担当医師 ③担当スタッフ → 2-2△ ④その他 () ↓ | ※複数回答可 ①主治医 ②リワーク担当医師 ③担当スタッフ → 2-2△ ④その他 () ↓ |
| 2-2. 担当スタッフ の職種について | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () | ※複数回答可 ①看護師 ②保健師 ③精神保健福祉士 ④臨床心理士 ⑤作業療法士 ⑥心理士 ⑦その他 () |

| | | | |
|------------------------|---|---|---|
| 3. 企業側 担当 | ※複数回答可 ①産業医 ②産業保健スタッフ ③人事労務担当 ④上司 ⑤その他 () | ※複数回答可 ①産業医 ②産業保健スタッフ ③人事労務担当 ④上司 ⑤その他 () | ※複数回答可 ①産業医 ②産業保健スタッフ ③人事労務担当 ④上司 ⑤その他 () |
| 4. 本人の 同意の有無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| 5. 本人の 同席 | ①同席する ②同席しない ③ケースバイケース | ①同席する ②同席しない ③ケースバイケース | ①同席する ②同席しない ③ケースバイケース |
| 6. 場所 | ①クリニック ②職場 ③その他 () | ①クリニック ②職場 ③その他 () | ①クリニック ②職場 ③その他 () |
| 7. 所要時間 | _____分 /回 | _____分 /回 | _____分 /回 |
| 8. 医療機関からの 情報提供内容は？ | ※複数回答可 ①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧評価表 (リワーク研究会書式) ⑨評価表 (リワーク研究会書式以外) ⑩今後の見通し ⑪業務への影響 ⑫配慮事項 ⑬担当窓口 ⑭その他 () | ※複数回答可 ①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧評価表 (リワーク研究会書式) ⑨評価表 (リワーク研究会書式以外) ⑩今後の見通し ⑪業務への影響 ⑫配慮事項 ⑬担当窓口 ⑭その他 () | ※複数回答可 ①現症 ②病名 ③服用薬 ④検査結果 ⑤治療内容 ⑥治療経過 ⑦本人の特性 ⑧評価表 (リワーク研究会書式) ⑨評価表 (リワーク研究会書式以外) ⑩今後の見通し ⑪業務への影響 ⑫配慮事項 ⑬担当窓口 ⑭その他 () |